

令和5年度大河原管内

地域連携担当・社会教育関係職員等研修会 みやぎ教育応援団マッチング会議

10月19日（木）、大河原教育事務所を会場に標記研修会を行いました。今年度は、地域連携担当の先生方、各市町で地域学校協働活動を担当している行政職員の方々が共に学び、互いの情報を共有していただけるように企画しました。さらに「みやぎ教育応援団マッチング会議」も併せて開催し、子供たちの学びを充実させることができる企業や団体の皆様と、直接情報交換できる場も設けました。

前半の研修の部では、宮城県教育庁生涯学習課 協働教育班 班長(社会教育主事)の小泉一樹課長補佐から、「地域学校協働活動の更なる推進について」と題して講義いただきました。その後、立場や自治体が異なる参加者同士でグループをつくり、これからの地域学校協働活動を充実させるためにどのようなことが考えられるか、活発な意見交換が行われました。後半の「みやぎ教育応援団マッチング会議」では、19ブース、33名の教育応援団の皆様と参加者が熱心に情報交換することができました。

新たな出会いやつながりが生まれ、本事業がさらに広がり、深まっていくことを予感させる研修会となりました。



講話「地域学校協働活動の更なる推進について」 （参加者からの評価の理由・感想）

【大変参考になった】

- ・地域連携担当としての考え方や心構え（つなぐ、つなげる）などを学ぶことができたからです。
- ・「学校を中核とした地域づくり」と言うと頑張らないといけない雰囲気になりますが、「緩やかなネットワークづくり」はできそうな感じがします。
- ・私にとっては難解な用語がたくさん出てくると感じる地域連携について、整理できました。なぜ、業務改善が望まれる中、手間をかけるのかと同僚に言われたりもしますが、大局的な視点で考えたら合点がいくものと感じました。ありがとうございました。

【まあまあ参考になった】

- ・気を張ることなく、ゆるいつながりで大丈夫ということで、肩の荷が下りた感じがしました。相手(学校や地域、児童)のことを考えて行動していきたいです。
- ・地域の力を生かした教育の必要性を再確認することができました。地域連携担当の自分が、学校と地域をつなぐ立場だということを意識し、本校の先生方、地域の方々に発信したいと思いました。

交流・情報交換「みやぎ教育応援団マッチング会議」（参加者の声）

- ・応援団の方に直接お話をうかがうことができ、授業等でご協力をいただくイメージができました。
- ・いろいろな支援がたくさんあることに感謝します。活用出来ればと考えています。
- ・耳にしたことぐらいしかなく、活動の内容を理解していなかったので、大変参考になりました。様々な分野に広がりがあるとさらによいと思いました。ありがとうございました。
- ・団体の方と直接お話を伺って分かることができました。無料での事業が多いのもありがたいです。児童生徒よりも考えられているのがとても良いと思いました。
- ・子供たちの学びを社会とつなげる。みやぎ教育応援団の存在は大きいなと感じました。出会いを大切にしていきたいと思います。
- ・それぞれの専門性、強みをアピールしてもらって、興味のあるところを積極的に活用したいと思います。
- ・長期休業中にじっくり聞きたかったです。冬休み中に開催していただければ、次年度の行事に組み込みやすいです。

研修会の感想（参加者の声）

- ・新しい出会いは、とても大切だと思っています。今回も楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。〔コーディネーター〕
- ・現場の課題がよく理解できました。〔市町職員〕
- ・情報交換で積極的に活動している様子が分かり、刺激になりました。〔小・教頭〕
- ・学校に戻り、職員に伝えていき、言葉の意味等を伝え、誤解等を払拭していきたいと思います。〔小・主幹教諭、教諭〕
- ・他市町村での取組や情報等を知ることができ、学校に戻って実践してみたいと考えることができました。〔小・主幹教諭、教諭〕
- ・まさにつながる、つなげる、そしてつながり合う時間となりました。様々な先生方のお話がうかがえてよかったです。〔中・主幹教諭、教諭、地域連携担当教員〕
- ・他市町の教員や行政の方と話をすることで、新たな気づきがありました。貴重な場をいただきありがとうございました。〔地域連携担当教員〕

